

この心如来となる

宗教法人 聖徳山「三寶寺」の建立の願い

お寺は大慈悲を具現する場所である。聖徳太子が浪速に四天王寺（推古元年五九三年）を建て、悲田院、敬田院、施薬院、療病院の四院を設けて、民衆の教化と福祉をはかられた精神と実際を受けつづのがふさわしい。内容は、

- 一、悲田院（孤独困窮者の救済）貧窮孤独な人を住まわせて養い、もし元気を回復したならば、四院の雑事に働かせた。
- 二、敬田院 人々をして悪を断じ善を修せしめて、さとりを得させるための修養の道場である。
- 三、施薬院 薬草を栽培して、人々に分け与えた。
- 四、療病院 誰でも男女ともに、いつさいの病人を寄宿させた。出家した僧尼でも、病気の間は戒律に禁じられてあるものでも、好きなままに食べさせ、病気がなればまた戒律を守らせた。

公務精神の源流

日本が仏教から学んだのは、衆生済度の慈悲である。釈尊の教えの核

心は、上求菩提・下化衆生（真の仏の道を求め、すべての生きものを教え導き善に進ませること）最高の悟り、覚め境地を求めるとともに、すべての生きとし生けるものを救済しようとするところにある。東アジアで主流をなしている大乘仏教においては、自らが仏となることをさしおいて、衆生を救うために力を尽くす菩薩（釈迦牟尼のようになることを理想として修行するもの）の実践、すなわち菩薩行を最も尊重しているのである。儒教は、統治のための手段として扱われがちだった。これらの事をもって、聖徳山三寶寺建立の願いがある。

お寺にはターミナルケア、教師、福祉をめざす方々がこられる。誰でも何か一つ夢の実現があれば良いのにと思っている。高校教師生活約二十四年間の間で、私がかかわった生徒の夢を挑戦させ実現させられたか。障害者の機能回復ソフト製作、ホーム施設援助社長、中国貿易社社員、国際サッカー審判員めざす審判員、英数社の教師、医療業務者、福祉施設

介護士、僧侶。人身受け難しと生まれた意義をみいだしてくれて、一人一人が能力を開発して世に出て菩薩の役割をしてくれている。

宗教法人は、寺の立場から、国から菩薩乗をもつ人材育成をまかせられたと思うのである。寺が国になにをすべきかという自力から、国家が寺に免税という経済援助をもって応援委託してくれるという他力本願なのである。

学校・病院・ホームが人々の援助によってつくられるのである。今日、高校教師をめざす青年がたずねてきてくれたことで、私の心は燃えあがった。国の宝は、人材育成（菩薩として、慈悲者なる人格）にある。世界・国の宝となる人材育成にかかわる教師をめざすこの青年の夢をかなえさせてあげたい。

その為の教育理念を、經典に照らしてつくってみたのである。

- 一、心の勇氣と和を語っている 十七条憲法
- 一、人として能力をもってこの世に産みだれて、人によって能力開発できることを語っている 三帰依文 人身受け難し

一、生老病死の不安をもちながら、永遠の本願、生まれた意義、能力を開発でき次の世代にうけ渡せる文化をつくる 大般涅槃經

一、山川草木一切悉有仏性、いのちの恩がえしを教える 涅槃經

一、信心の段階を示す 教行信証  
これらを教育理論として、自然の中で、植物の栽培、動物の飼育、芸術などを高齢者・医者・福祉士・教師・父兄・子供・生徒の能力を互いに敬いあい、物事を達成する。また、インターネットで学習資格を得る。これらの願いが燃えあがった。教育理論をだしてみれば、初めに言葉ありきで、学校ができるのである。



2月23日 認証授与（神奈川県庁にて）



三寶寺立会人、写真右より内田ワミ、目崎ハルエ、武藤光威、住職 釋法薫、坊守 釋尼花伝